

# 中学生の健康問題への関心と対処方法の実態調査

— 大東町の中学生へのアンケート調査を通して —

村山より子・小川久貴子・久米美代子

## 要 約

本調査は、大東町の中学生 812 人を対象に質問紙法を用いて、健康問題への関心と対処方法の実態調査を行なった。

その結果、

1. 対象の背景は、拡大家族 59.5%、核家族 40.5%であり、88.3%の母親は仕事をしていた。思春期のとらえ方としては肯定的にとらえている生徒が多かった。
2. 生活・健康上の悩みは「アイデンティティ」、「学校生活」、「体の変化・発達」、「家族関係」、「恋愛や性行動」の順に多く、その内容は学年、男女によって差がみられた。今、知りたいことは「気分転換やストレス解消法」40.5%、「人間関係」30.7%、「人生や生き方」28.5%、「ダイエット」23.8%、などであった。
3. 生活・健康上の悩みの対処法については、女子生徒は「同性の友人と話すことで安心する」としていたが、男子生徒は「誰にも相談できず、ひとりで悩んだ」、「じっと我慢した」と答えていた。また、健康や性の知識・情報で一番役立ったこととして、「友人の話」29.2%、「学校の授業」29.1%、「雑誌」20.6%、「テレビ」20.5%であった。

## Ⅱ. 研究方法

### Ⅰ. はじめに

近年、思春期の健康問題は不登校、引きこもり、キレル、薬物依存といった問題に加え、人工妊娠中絶や STD（性感染症）の増加、低年齢化等が社会問題になっている。思春期は子どもから大人の身体に変化して行く時期であり、精神面でも自己を確立すること、すなわち性同一性を獲得する時期でもある<sup>1)</sup>。そのため、多様な身体及び精神の変化が生じ、それが健康に影響を及ぼすこともある。また、この時期における発達過程や障害の有無が、成人したときの健康や生殖機能に重大な影響を与える<sup>2)</sup>。そこで、本調査は大東町の中学生の健康問題への関心と対処の現状を明らかにする目的で、質問紙法を用いてアンケート調査を行なった。

### 1. 調査対象

大東町の公立中学校である城東中学校と大浜中学校の生徒計 812 名のうち同意の得られた 766 名（回収率 94.9%）である。

### 2. 調査期間

2001 年 9 月中旬に実施した。

### 3. 調査方法

無記名自己記入式質問調査紙を用いてアンケート調査を行なった。調査は、大東町教育委員会と城東中学校、大浜中学校より許可を得て実施した。

### 4. 倫理的配慮

調査依頼にあたっては、調査結果の匿名性の保持、調査に同意しないことにより不利益をこうむることなどが無いことを調査依頼の際に併せてお願いした。調査にあた

っては、生徒には、答えたくない質問には答えなくとも良いことを伝え無記名とし実施した。

### 5. 調査内容

対象者の背景（学年・性別、家族構成、母の仕事、思春期のとらえ方）、健康問題への関心（今、知りたいこと、生活・健康上の悩み）、対処方法（悩みの対処、相談相手、「健康や性」の知識や情報で役立ったこと、）の3項目について調査を行なった。

### 6. 分析方法

調査結果を、学年・男女別にエクセル 2002 で集計を行なった。（今回の分析には養護学級は除いた）

## Ⅲ. 結果

### 1. 対象者の背景（表1、2）

調査対象者は、1年生 254 人（男子 140 人・女子 114 人）、2年生 258 人（男子 132 人・女子 126 人）、3年生 254 人（男子 127 人・女子 127 人）、計 766 人（男子 399 人・女子 367 人）であった。家族構成は、拡大家族が 456 名（59.5%）でその内訳は、祖父と同居が 335 人（43.7%）、祖母と同居 420 人（54.8%）、叔父と同居が 13 人（1.7%）、叔母と同居が 33 人（4.3%）、曾祖父・曾祖母と同居が 15 人（2.0%）であった。核家族は 310 人（40.5%）であり、一人っ子は 33 人（4.3%）であった。

表1 調査対象者の背景

	男子 人数	女子 人数	合計 人数 (%)
全学年	399	367	766
学年	1年生	140	254 (33.2)
	2年生	132	258 (33.7)
	3年生	127	254 (33.2)
同居 家族	父	382	736 (96.1)
	母	395	756 (98.7)
	祖父	175	335 (43.7)
	祖母	209	420 (54.8)
	おじ	9	13 (1.7)
	おば	21	33 (4.3)
	曾祖父母	6	15 (2.0)
	姉	145	275 (35.9)
	兄	153	284 (37.1)
	妹	125	233 (30.4)
	弟	131	268 (35.0)
	一人っ子	18	33 (4.3)
母の 仕事	している	346	676 (88.3)
	していない	38	63 (8.2)
	無回答	15	25 (3.3)

また、母が仕事をしている人は 676 人（88.3%）、していない人は 63 人（8.2%）であった。次に、思春期のとらえ方は、「今は楽しい」632 人（82.5%）、「部活や趣味に熱中できる」595 人（77.7%）、「自分の将来に夢がある」527 人（68.8%）、「異性の前ではよく思われたい」530 人（69.2%）、「大人になるのがうれしい」は 323 人（42.2%）であり、全学年の男女ともに肯定的にとらえていた。

表2 思春期のとらえ方

※1年生：男子(n=140) 女子(n=114) 2年生：男子(n=132) 女子(n=126) 3年生：男子(n=127) 女子(n=127)

		今は楽しい			大人になるのがうれしい			部活や趣味に熱中できる			自分の将来に夢がある			異性の前でよく思われたい		
		男子 (%)	女子 (%)	全体 (%)	男子	女子	全体 (%)	男子	女子	全体 (%)	男子	女子	全体 (%)	男子	女子	全体 (%)
全くそう思わない	1年生 (n=254)	4 (2.9)	1 (0.9)	5 (2.0)	20 (14.3)	13 (11.4)	33 (13.0)	3 (2.1)	1 (0.9)	4 (1.6)	13 (9.3)	13 (11.4)	26 (10.2)	14 (10.0)	7 (6.1)	21 (8.3)
	2年生 (n=258)	1 (0.76)	9 (7.1)	10 (3.9)	9 (6.8)	11 (8.7)	20 (7.8)	5 (3.8)	11 (8.7)	16 (6.2)	19 (14.4)	17 (13.5)	36 (14.0)	11 (8.3)	3 (2.4)	14 (5.4)
	3年生 (n=254)	4 (3.1)	4 (3.1)	8 (3.1)	8 (6.3)	6 (4.7)	14 (5.5)	13 (10.2)	15 (11.8)	28 (11.0)	7 (5.5)	19 (15.0)	26 (10.2)	13 (10.2)	7 (5.5)	20 (7.9)
	合計	9 (2.3)	14 (3.8)	23 (3.0)	37 (9.3)	30 (8.2)	67 (8.7)	21 (5.3)	27 (7.4)	48 (6.3)	39 (9.8)	49 (13.4)	88 (11.5)	38 (9.5)	17 (4.6)	55 (7.2)
そうは思わない	1年生 (n=254)	16 (11.4)	22 (19.3)	38 (15.0)	58 (41.4)	58 (50.9)	116 (45.7)	12 (8.6)	13 (11.4)	25 (9.8)	16 (11.4)	14 (12.3)	30 (11.8)	31 (22.1)	21 (18.4)	52 (20.5)
	2年生 (n=258)	17 (12.9)	17 (13.5)	34 (13.2)	57 (43.2)	65 (51.6)	122 (47.3)	13 (9.8)	20 (15.9)	33 (12.8)	26 (19.7)	31 (24.6)	57 (22.1)	28 (21.2)	25 (19.8)	53 (20.5)
	3年生 (n=254)	17 (13.4)	16 (12.6)	33 (13.0)	60 (47.2)	71 (55.9)	131 (51.6)	22 (17.3)	31 (24.4)	53 (20.9)	26 (20.5)	28 (22.0)	54 (21.3)	21 (16.5)	12 (9.4)	33 (13.0)
	合計	50 (12.5)	55 (15.0)	105 (13.7)	175 (43.9)	194 (52.9)	369 (48.2)	47 (11.8)	64 (17.4)	111 (14.5)	68 (17.0)	73 (19.9)	141 (18.4)	80 (20.1)	58 (15.8)	138 (18.0)
どちらか思いうとうと	1年生 (n=254)	78 (55.7)	62 (54.4)	140 (55.1)	53 (37.9)	34 (29.8)	87 (34.3)	27 (19.3)	42 (36.8)	69 (27.2)	35 (25.0)	34 (29.8)	69 (27.2)	53 (37.9)	50 (43.9)	103 (40.6)
	2年生 (n=258)	64 (48.5)	73 (57.9)	137 (53.1)	44 (33.3)	44 (34.9)	88 (34.1)	40 (30.3)	41 (32.5)	81 (31.4)	29 (22.0)	31 (24.6)	60 (23.3)	61 (46.2)	64 (50.8)	125 (48.4)
	3年生 (n=254)	60 (40.2)	73 (57.5)	133 (52.4)	43 (33.9)	39 (30.7)	82 (32.3)	40 (31.5)	51 (40.2)	91 (35.8)	38 (29.9)	40 (31.5)	78 (30.7)	62 (48.8)	80 (63.0)	142 (55.9)
	合計	202 (50.6)	208 (56.7)	410 (53.5)	140 (35.1)	117 (31.9)	257 (33.6)	107 (26.8)	134 (36.5)	241 (31.5)	102 (25.6)	105 (28.6)	207 (27.0)	176 (44.1)	194 (52.9)	370 (48.3)
全くそう思う	1年生 (n=254)	42 (30.0)	28 (24.6)	70 (27.6)	9 (6.4)	5 (4.4)	14 (5.5)	94 (67.1)	55 (48.2)	149 (58.7)	74 (52.9)	51 (44.7)	125 (49.2)	26 (18.6)	27 (23.7)	53 (20.9)
	2年生 (n=258)	49 (37.1)	26 (20.6)	75 (29.1)	20 (15.2)	6 (4.8)	26 (10.1)	71 (53.8)	54 (42.9)	125 (48.4)	41 (31.7)	46 (36.5)	101 (39.1)	25 (18.9)	29 (23.0)	54 (20.9)
	3年生 (n=254)	44 (34.6)	33 (26.0)	77 (30.3)	16 (12.6)	10 (7.9)	26 (10.2)	50 (39.4)	30 (23.6)	80 (31.5)	54 (42.5)	40 (31.5)	94 (37.0)	28 (22.0)	25 (19.7)	53 (20.9)
	合計	135 (33.8)	87 (23.7)	222 (29.0)	45 (11.3)	21 (5.7)	66 (8.6)	215 (53.9)	139 (37.9)	354 (46.2)	183 (45.9)	137 (37.3)	320 (41.8)	79 (19.8)	81 (22.1)	160 (20.9)

2. 健康問題への関心について (複数回答)

1) 悩みの内容 (図1、表3)

悩みの内容については① アイデンティティ、② 学校生活、③ 体の変化・発達、④ 家族関係、⑤ 恋愛や性行動の順に多かった。

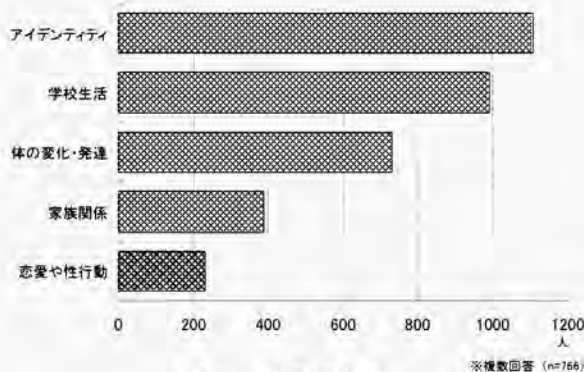


図1 悩みの内容

① アイデンティティ

多い順に見ると、「感情の揺れ」309人 (40.3%)、「自分の性格」297人 (38.8%)、「自分がわからない」241人 (31.5%)、「子ども扱い、大人扱いの矛盾」178人 (23.2%)、「優等生、良い子のプレッシャー」72人 (9.4%)、「その他」11人 (1.4%)であった。「感情の揺れ」、「自分の性格」では、1年生女子が一番多く反対に少ないのは2、3年生男子であった。

② 学校生活

「成績や進路の不安」516人 (67.4%)、「友達つきあいが下手」175人 (22.8%)、「部活の悩み」137人 (17.9%)、「学校に行きたくない」97人 (12.7%)、「いじめにあった」37人 (4.8%)、「その他」30人 (3.9%)の順であった。

表3 悩みの内容

※複数回答

	1年生(n=254)			2年生(n=258)			3年生(n=254)			全 体 n=766 (%)	
	男子 n=140 (%)	女子 n=114 (%)	合計 (%)	男子 n=132 (%)	女子 n=126 (%)	合計 (%)	男子 n=127 (%)	女子 n=127 (%)	合計 (%)		
《アイデンティティ》	感情の揺れ	54 (38.6)	59 (51.8)	113 (44.5)	43 (32.6)	56 (44.4)	99 (38.4)	40 (31.5)	57 (44.9)	97 (38.2)	309 (40.3)
	自分の性格	54 (38.6)	62 (54.4)	116 (45.7)	33 (25.0)	59 (46.8)	92 (35.7)	39 (30.7)	50 (39.4)	89 (35.0)	297 (38.8)
	自分がかからない	34 (24.3)	37 (32.5)	71 (28.0)	33 (25.0)	51 (40.5)	84 (32.6)	40 (31.5)	46 (36.2)	86 (33.9)	241 (31.5)
	子ども扱い・大人扱いの矛盾	33 (23.6)	34 (29.8)	67 (26.4)	22 (16.7)	34 (27.0)	56 (21.7)	24 (18.9)	31 (24.4)	55 (21.7)	178 (23.2)
	優等生・良い子のプレッシャー	9 (6.4)	13 (11.4)	22 (8.7)	8 (6.1)	13 (10.3)	21 (8.1)	13 (10.2)	16 (12.6)	29 (11.4)	72 (9.4)
	その他	0 (0.0)	1 (0.9)	1 (0.4)	1 (0.8)	2 (1.6)	3 (1.2)	6 (4.7)	1 (0.8)	7 (2.8)	11 (1.4)
	合 計	184	206	390	140	215	355	162	201	363	1108
《学校生活》	成績や進路の不安	90 (64.3)	77 (67.5)	167 (65.7)	76 (57.6)	80 (63.5)	156 (60.5)	92 (72.4)	103 (81.1)	195 (76.8)	516 (67.4)
	友達づきあいが下手	28 (20.0)	36 (31.6)	64 (25.2)	25 (18.9)	39 (31.0)	64 (24.8)	25 (19.7)	22 (17.3)	47 (18.5)	175 (22.8)
	部活の悩み	25 (17.9)	45 (39.5)	70 (27.6)	26 (19.7)	29 (23.0)	55 (21.3)	6 (4.7)	6 (4.7)	12 (4.7)	137 (17.9)
	学校に行きたくない	14 (10.0)	19 (16.7)	33 (13.0)	16 (12.1)	27 (21.4)	43 (16.7)	11 (8.7)	10 (7.9)	21 (8.3)	97 (12.7)
	いじめにあった	13 (9.3)	8 (7.0)	21 (8.3)	5 (3.8)	7 (5.6)	12 (4.7)	1 (0.8)	10 (7.9)	11 (4.3)	37 (4.8)
	その他	3 (2.1)	8 (7.0)	11 (4.3)	2 (1.5)	8 (6.3)	10 (3.9)	7 (5.5)	2 (1.6)	9 (3.5)	30 (3.9)
	合 計	173	193	366	150	190	340	142	153	288	992
《体の変化・発達》	容姿に関すること	41 (29.3)	77 (67.5)	118 (46.5)	35 (26.5)	84 (66.7)	119 (46.1)	48 (37.8)	84 (66.1)	132 (52.0)	369 (48.2)
	身体の発育の個人差	41 (29.3)	33 (28.9)	74 (29.1)	24 (18.2)	36 (28.6)	60 (23.3)	33 (26.0)	28 (22.2)	61 (24.0)	195 (25.5)
	体臭や口臭	17 (12.1)	16 (14.0)	33 (13.0)	15 (11.4)	25 (19.8)	40 (15.5)	10 (7.9)	11 (8.7)	21 (8.3)	94 (12.3)
	恥毛や乳房・性器の変化に慣れる	8 (5.7)	11 (9.6)	19 (7.5)	2 (1.5)	6 (4.8)	8 (3.1)	2 (1.6)	4 (3.1)	6 (2.4)	33 (4.3)
	初潮・夢精の出現の個人差	6 (4.7)	11 (9.6)	17 (6.7)	3 (2.3)	3 (2.4)	6 (2.3)	2 (1.6)	3 (2.4)	5 (2.0)	28 (3.7)
	その他	1 (0.7)	1 (0.9)	2 (0.8)	1 (0.8)	1 (0.8)	2 (0.8)	7 (5.5)	2 (1.6)	9 (3.5)	13 (1.7)
	合 計	114	149	263	80	155	235	102	132	234	732
《家族関係》	親との関係	38 (27.1)	36 (31.6)	74 (29.1)	36 (27.3)	55 (43.7)	91 (35.3)	35 (27.6)	56 (44.1)	91 (35.8)	256 (33.4)
	両親のけんかや離婚・再婚	7 (5.0)	11 (9.6)	18 (7.1)	3 (2.3)	8 (6.3)	11 (4.3)	8 (6.3)	7 (5.5)	15 (5.9)	44 (5.7)
	家族の病気	12 (8.6)	11 (9.6)	23 (9.1)	6 (4.5)	5 (4.0)	11 (4.3)	6 (4.7)	4 (3.1)	10 (3.9)	44 (5.7)
	その他	2 (1.4)	2 (1.8)	4 (1.6)	2 (1.5)	4 (3.2)	6 (2.3)	6 (4.7)	3 (2.4)	9 (3.5)	19 (2.5)
	家庭内暴力	6 (4.3)	1 (0.9)	7 (2.8)	3 (2.3)	1 (0.8)	4 (1.6)	3 (2.4)	2 (1.6)	5 (2.0)	16 (2.1)
	転居や転校	4 (2.9)	4 (3.5)	8 (3.1)	1 (0.8)	1 (0.8)	2 (0.8)	1 (0.8)	1 (0.8)	2 (0.8)	12 (1.6)
	合 計	69	65	134	51	74	125	59	73	132	391
《恋愛や性行動》	恋愛関係	15 (10.7)	23 (20.2)	38 (15.0)	17 (12.9)	26 (20.6)	43 (16.7)	20 (15.7)	32 (25.2)	52 (20.5)	133 (17.4)
	性体験	3 (2.1)	1 (0.9)	4 (1.6)	6 (4.5)	3 (2.4)	9 (3.5)	8 (6.3)	8 (6.3)	16 (6.3)	29 (3.9)
	キスをする	5 (3.6)	3 (2.6)	8 (3.1)	7 (5.3)	1 (0.8)	8 (3.1)	6 (4.7)	2 (1.6)	8 (3.1)	24 (3.1)
	異性の身体に触れる	1 (0.7)	3 (2.6)	4 (1.6)	5 (3.8)	2 (1.6)	7 (2.7)	7 (5.5)	4 (3.1)	11 (4.3)	22 (2.9)
	夢精や自慰行為	1 (0.7)	1 (0.9)	2 (0.8)	5 (3.8)	1 (0.8)	6 (2.3)	6 (4.7)	1 (0.8)	7 (2.8)	15 (2.0)
	その他	0 (0.0)	1 (0.9)	1 (0.4)	1 (0.8)	1 (0.8)	2 (0.8)	5 (3.9)	1 (0.8)	6 (2.4)	9 (1.2)
	合 計	25	32	57	41	34	75	52	48	100	232

3年生では「成績や進路の不安」について一番多く、その中でも女子の方が多かった。「友達づきあいが下手」は、1、2年生女子に多く、3年生男女では少なかった。「部活の悩み」は、1年生女子が多く、3年生の男女は少なかった。全学年とも「いじめにあった」は少ない。

### ③ 体の変化・発達

「容姿に関すること」369人(48.2%)、「身体の発育の個人差」195人(25.5%)、「体臭や口臭」94人(12.3%)、「性器の変化になれる」33人(4.3%)、「初潮・夢精の出現の個人差」28人(3.7%)、「その他」13人(1.7%)の順であった。

「容姿に関すること」は全学年の女子に圧倒的に多かった。「身体の発育の個人差」は1年生男子に多く見られ、「体臭や口臭」は2年生女子に多く、「性器の変化になれる」、「初潮・夢精の出現の個人差」は1年生の男女が多かった。

### ④ 家族関係

「親との関係」256人(33.4%)、「両親のけんかや離婚・再婚」44人(5.7%)、「家族の病気」44人(5.7%)、「その他」19人(2.5%)、「家庭内暴力」16人(2.1%)、「転居や転校」12人(1.6%)の順であった。

「親との関係」は全学年に一番多く見られた。

「家庭内暴力」「転居や転校」などの悩みは非常に少なかった。⑤ 恋愛や性行動

「恋愛関係」133人(17.4%)、「性体験」29人(3.9%)、「キスをする」24人(3.1%)、「異性の身体に触れる」22人(2.9%)、「夢精や自慰行為」15人(2.0%)、「その他」9人(1.2%)である。

「恋愛関係」は3年生女子に多く、1年生男子では少なかった。「性体験」に関しては僅かではあるが3年の男女に多く、「キスをする」、「異性の身体に触れる」、「夢精や自慰行為」に関する悩みは2、3年生の男子にやや多く見られた。

### 2) 今、知りたいこと(表4)

「気分転換やストレス解消法」310人(40.5%)、「人間関係」235人(30.7%)、「人生や生き方」218人(28.5%)、「ダイエット」182人(23.8%)、「異性との付き合い方」132人(17.2%)、「性器や身体の個人差」45人(5.9%)、「性交・避妊」34人(4.4%)、「性感染症」31人(4.0%)、「その他」23人(3.0%)、「月経」20人(2.6%)の順であった。

表4 今、知りたいこと

	1年生(n=254)			2年生(n=258)			3年生(n=254)			全体 n=766 (%)
	男子 n=140 (%)	女子 n=114 (%)	合計 (%)	男子 n=132 (%)	女子 n=126 (%)	合計 (%)	男子 n=127 (%)	女子 n=127 (%)	合計 (%)	
気分転換やストレス解消法	61 (43.6)	51 (44.7)	112 (44.1)	42 (31.8)	60 (47.6)	102 (39.5)	44 (34.6)	52 (40.9)	96 (37.8)	310 (40.5)
人間関係	40 (28.6)	36 (31.6)	76 (29.9)	30 (22.7)	47 (37.3)	77 (29.8)	36 (28.3)	46 (36.2)	82 (32.3)	235 (30.7)
人生や生き方	57 (40.7)	27 (23.7)	84 (33.1)	40 (30.3)	27 (21.4)	67 (26.0)	41 (32.3)	26 (20.5)	67 (26.4)	218 (28.5)
ダイエット	15 (10.7)	37 (32.5)	52 (20.5)	9 (6.8)	48 (38.1)	57 (22.1)	14 (11.0)	59 (46.5)	73 (28.7)	182 (23.8)
異性との付き合い方	18 (12.9)	23 (20.2)	41 (16.1)	17 (12.9)	28 (22.2)	45 (17.4)	21 (16.5)	25 (19.7)	46 (18.1)	132 (17.2)
性器や身体の個人差	3 (2.1)	7 (6.1)	10 (3.9)	9 (6.8)	8 (6.3)	17 (6.6)	9 (7.1)	9 (7.1)	18 (7.1)	45 (5.9)
性交・避妊	5 (3.6)	1 (0.9)	6 (2.4)	3 (2.3)	4 (3.2)	7 (2.7)	8 (6.3)	13 (10.2)	21 (8.3)	34 (4.4)
性感染症	2 (1.4)	1 (0.9)	3 (1.2)	5 (3.8)	4 (3.2)	9 (3.5)	6 (4.7)	13 (10.2)	19 (7.5)	31 (4.0)
その他	5 (3.6)	2 (1.8)	7 (2.8)	2 (1.5)	4 (3.2)	6 (2.3)	8 (6.3)	2 (1.6)	10 (3.9)	23 (3.0)
月経	3 (2.1)	5 (4.4)	8 (3.1)	3 (2.3)	3 (2.4)	6 (2.3)	3 (2.4)	3 (2.4)	6 (2.4)	20 (2.6)

※複数回答

「気分転換やストレス解消法」「人間関係」は全学年の男女に多く見られた。男女差で見ると「ダイエット」は女子に多く、「人生や生き方」は男子に多かった。「性交・避妊」、「性感染症」は3年女子にやや多く見られたが「月経」については全学年を通して少なかった。

## 2. 対処方法について（複数回答）

### 1) 悩みの対処行動（表5）

「同性の友人と一緒に話す」371人（48.4%）、

「誰にも相談できなかった」178人（23.2%）「じっと我慢した」177人（23.1%）、「家族に八つ当たりした」136人（17.8%）、「家族と話した」133人（17.7%）、「メールや携帯電話で友人と話した」90人（11.7%）、「雑誌や本を読んで情報を得た」83人（10.8%）、「先輩・教師・カウンセラーに相談した」50人（6.5%）、「異性の友人と一緒に話す」47人（6.1%）、「その他」22人（2.9%）、「インターネットで情報を得た」21人（2.7%）の順であった。

表5 悩みの対処行動

	1年生(n=254)			2年生(n=258)			3年生(n=254)			※複数回答
	男子 n=140 (%)	女子 n=114 (%)	合計 (%)	男子 n=132 (%)	女子 n=126 (%)	合計 (%)	男子 n=127 (%)	女子 n=127 (%)	合計 (%)	全体 n=766 (%)
同性の友人と一緒に話した	56 (40.0)	77 (67.5)	133 (52.4)	36 (27.3)	83 (65.9)	119 (46.1)	41 (32.3)	78 (61.4)	119 (46.9)	371 (48.4)
誰にも相談できず一人で悩んだ	32 (22.9)	32 (28.1)	64 (25.2)	26 (19.7)	37 (29.4)	63 (24.4)	23 (18.1)	28 (22.0)	51 (20.1)	178 (23.2)
じっと我慢した	36 (25.7)	29 (25.4)	65 (25.6)	25 (18.9)	21 (16.7)	46 (17.8)	32 (25.2)	34 (26.8)	66 (26.0)	177 (23.1)
家族に八つ当たりした	19 (13.6)	31 (27.2)	50 (19.7)	17 (12.9)	33 (26.2)	50 (19.4)	10 (7.9)	26 (20.5)	36 (14.2)	136 (17.8)
家族と一緒に話した	22 (15.7)	29 (25.4)	51 (20.1)	19 (14.4)	21 (16.7)	40 (15.5)	16 (12.6)	26 (20.5)	42 (16.5)	133 (17.4)
メールや携帯電話で友人と話した	7 (5.0)	10 (8.8)	17 (6.7)	9 (6.8)	17 (13.5)	26 (10.1)	16 (12.6)	31 (24.4)	47 (18.5)	90 (11.7)
雑誌や本を読んで情報を得た	17 (12.1)	18 (15.8)	35 (13.8)	6 (4.5)	23 (18.3)	29 (11.2)	10 (7.9)	9 (7.1)	19 (7.5)	83 (10.8)
先輩・教師に相談した	6 (4.3)	10 (8.8)	16 (6.3)	6 (4.5)	9 (7.1)	15 (5.8)	4 (3.1)	15 (11.8)	19 (7.5)	50 (6.5)
異性の友人と一緒に話した	5 (3.6)	7 (6.1)	12 (4.7)	8 (6.1)	4 (3.2)	12 (4.7)	12 (9.4)	11 (8.7)	23 (9.1)	47 (6.1)
その他	4 (2.9)	1 (0.9)	5 (2.0)	2 (1.5)	7 (5.6)	9 (3.5)	6 (4.7)	2 (1.6)	8 (3.1)	22 (2.9)
インターネットで情報を得た	9 (6.4)	2 (1.8)	11 (4.3)	2 (1.5)	2 (1.6)	4 (1.6)	3 (2.4)	3 (2.4)	6 (2.4)	21 (2.7)

「同性の友人と一緒に話す」は全学年の女子に圧倒的に多く、次は「家族に八つ当たりした」で全学年の女子に多かった。「メールや携帯電話で友人と話した」は3年生の女子に多かった。

男子学生は「メールや携帯電話で友人と話した」、「誰にも相談できず一人で悩んだ」、「じっと我慢した」という結果であった。

### 2) 相談相手として望む人（表6）

「相談しやすい友人」521人（68.0%）、「自分を理解してくれる人」477人（62.3%）、「親」149

人（19.5%）、「教師」37人（4.8%）、「先輩」37人（4.8%）、「テレビ・新聞・雑誌」28人（3.7%）、「インターネット」23人（3.0%）、「養護教諭」14人（1.8%）、「その他」13人（1.7%）、「スクールカウンセラー」10人（1.3%）、「看護師・保健師・助産師」8人（1.0%）の順であった。

「相談しやすい友人」は全学年女子に圧倒的に多い。「自分を理解してくれる人」については2年生の女子が多い。他の項目に関して男女差は見られなかった。「教師」への相談はやや3年生に多く見られた。

表6 相談相手に望む人

※複数回答

	1年生(n=254)			2年生(n=258)			3年生(n=254)			全体 n=766 (%)
	男子 n=140 (%)	女子 n=114 (%)	合計 (%)	男子 n=132 (%)	女子 n=126 (%)	合計 (%)	男子 n=127 (%)	女子 n=127 (%)	合計 (%)	
相談しやすい友人	91 (65.0)	98 (86.0)	189 (74.4)	72 (54.5)	97 (77.0)	169 (65.5)	69 (54.3)	94 (74.0)	163 (64.2)	521 (68.0)
自分を理解してくれる人	74 (52.9)	76 (66.7)	150 (59.1)	65 (49.2)	96 (76.2)	161 (62.4)	80 (63.0)	86 (67.7)	166 (65.4)	477 (62.3)
親	31 (22.1)	24 (21.1)	55 (21.7)	22 (16.7)	21 (16.7)	43 (16.7)	21 (16.5)	30 (23.6)	51 (20.1)	149 (19.5)
教師	7 (5.0)	0	7 (2.8)	7 (5.3)	5 (4.0)	12 (4.7)	8 (6.3)	10 (7.9)	18 (7.1)	37 (4.8)
先輩	7 (5.0)	10 (8.8)	17 (6.7)	4 (3.0)	6 (4.8)	10 (3.9)	6 (4.7)	4 (3.1)	10 (3.9)	37 (4.8)
テレビ・新聞・雑誌	6 (4.3)	6 (5.3)	12 (4.7)	5 (3.8)	6 (4.8)	11 (4.3)	3 (2.4)	2 (1.6)	5 (2.0)	28 (3.7)
インターネット	8 (5.7)	3 (2.6)	11 (4.3)	2 (1.5)	4 (3.2)	6 (2.3)	3 (2.4)	3 (2.4)	6 (2.4)	23 (3.0)
養護教諭	3 (2.1)	5 (4.4)	8 (3.1)	0	1 (0.8)	1 (0.4)	3 (2.4)	2 (1.6)	5 (2.0)	14 (1.8)
その他	1 (0.7)	3 (2.6)	4 (1.6)	0	1 (0.8)	1 (0.4)	6 (4.7)	2 (1.6)	8 (3.1)	13 (1.7)
スクールカウンセラー	0	1 (0.9)	1 (0.4)	0	2 (1.6)	2 (0.8)	3 (2.4)	4 (3.1)	7 (2.8)	10 (1.3)
看護師・保健師・助産師	0	1 (0.9)	1 (0.4)	2 (1.5)	1 (0.8)	3 (1.2)	3 (2.4)	1 (0.8)	4 (1.6)	8 (1.0)

3) 「健康や性」の知識や情報で一番役にたったこと(表7)

「友人の話」224人(29.2%)、「学校の授業」223人(29.1%)、「雑誌」158人(20.6%)、「テレビ」157人(20.5%)、「両親の話」48人(6.3%)、

「授業以外での先生の話」41人(5.4%)、「その他」13人(1.7%)であった。

「友人の話」、「学校の授業」は全学年に多く見られ、「雑誌」については女子に多く、男子は「テレビ」が多かった。

表7 「健康や性」の知識や情報で一番役に立ったこと

※複数回答

	1年生(n=254)			2年生(n=258)			3年生(n=254)			全体 n=766 (%)
	男子 n=140 (%)	女子 n=114 (%)	合計 (%)	男子 n=132 (%)	女子 n=126 (%)	合計 (%)	男子 n=127 (%)	女子 n=127 (%)	合計 (%)	
友人の話	38 (27.1)	26 (22.8)	64 (25.2)	35 (26.5)	40 (31.7)	75 (29.1)	40 (31.5)	45 (35.4)	85 (33.5)	224 (29.2)
学校の授業	39 (27.9)	33 (28.9)	72 (28.3)	35 (26.5)	39 (31.0)	74 (28.7)	39 (30.7)	38 (29.9)	77 (30.3)	223 (29.1)
雑誌	12 (8.6)	27 (23.7)	39 (15.4)	13 (9.8)	41 (32.5)	54 (20.9)	20 (15.7)	45 (35.4)	65 (25.6)	158 (20.6)
テレビ	31 (22.1)	17 (14.9)	48 (18.9)	32 (24.2)	20 (15.9)	52 (20.2)	34 (26.8)	23 (18.1)	57 (22.4)	157 (20.5)
両親の話	8 (5.7)	14 (12.3)	22 (8.7)	8 (6.1)	10 (7.9)	18 (7.0)	0	8 (6.3)	8 (3.1)	48 (6.3)
授業以外での先生の話	5 (3.6)	6 (5.3)	11 (4.3)	12 (9.1)	10 (7.9)	22 (8.5)	5 (3.9)	3 (2.4)	8 (3.1)	41 (5.4)
その他	1 (0.7)	4 (3.5)	5 (2.0)	1 (0.8)	1 (0.8)	2 (0.8)	5 (3.9)	1 (0.8)	6 (2.4)	13 (1.7)

#### IV. 考 察

今回の大東町の殆どの中学生は、思春期を肯定的にとらえていた。その背景を見ると、核家族より拡大家族で生活しているものが多かった。生活・健康上の悩みは、「家族関係」、「恋愛や性行動」に関する事よりも「アイデンティティ」や「学校生活」に関する事の方が2～3倍多かった。困った時の相談相手として望む人と知識の情報源は、相談しやすい友人、自分を理解してくれる人が圧倒的に多かった。悩みの対処に関しては男女差があり、女子では「同性の友人と話すことで安心する」としていた。また、男子は「誰にも相談できず、ひとりで悩んだ」、「じっと我慢した」という対処方法をとっていた。これは、依存していた子どもの時期から自分が何を求めようとしているのかを考えるようになり、自我に目覚めて、一人の自立した男・女として自分を探し出しているためと考えられる<sup>3)</sup>。今調査結果での対処に関する男女の違いは、物部らは、外的要因による行動のコントロールを男女で比較すると、女子は、

他者依存の傾向や自発的行動に対する消極性が高い<sup>4)</sup>と報告していることからその違いがでたものと考えられる。

国連の167ヶ国の調査では、性の健康について知っていれば知っているほど性的被害から自分の身を守るとの報告もある。以上をふまえ、単なる健康問題の知識理解だけでなく、生徒一人一人の意思決定や行動選択が重要であり、心の健康への対応については自己の可能性を最大限にいかし、自己を高めていくことの大切さが重要である。そのためには、正しい情報が身近でとれるように環境調整が必要である。

#### 謝辞

本調査にご協力をいただいた城東中学校・大浜中学校の生徒のみなさま、ならびに校長先生はじめ諸先生方、そして大東町教育委員会に深く感謝いたします。なお、本調査は吉岡彌生記念館大東町健康調査研究助成を受けて実施した。

#### 引用文献

- 1) 上村靖子：思春期保健のあゆみ。公衆衛生，V01. 63, No. 7, 1999
- 2) 川畑徹朗：思春期を生きる力の育成。ライフスキル教育が目指すもの。公衆衛生，V01. 63, No. 7, 1999
- 3) 福田 環：自分を大切に生きるためには。思春期学，VOL. 19, No. 1, 2001
- 4) 物部博文、加藤英世、中島彩、朝野聡：高校生の不定愁訴とセルフ・コントロールスキルに関する研究。思春期学，V01. 19, No. 4, 2001